



Newspaper in Education

記事を読んで、問いに答えましょう。

静岡新聞で学ぼう



2022年 1月6日 朝刊

下町ボブスレー

!!

都内の町工場など開発



北京冬季五輪の開幕まで1カ月を切る中、東京都大田区の町工場などによるプロジェクト「下町ボブスレー」が3度目の五輪挑戦に向けて、その開発を進めている。過去2大会は不採用。メンバーの頭には「解散」もよぎったが、経験を糧に今回イタリア代表への採用を狙う。パチッ、パチッ。冷たい空気に鉄の焼けるにおいが混じる。2021年12月、大田区の溶接工場で下町ボブスレーの溶接を取り仕切る後藤智之さん(37)が一人、黙々と作業をしていた。「いかにひずみを出さず溶接するか。タイムの遅れだけでなく、振動で壊れないように気を付けている」

プロジェクトは11年に発足。これまで国産製品がなかったボブスレー競技のそり開発に目を付け、切削や溶接、研磨など金属加工に携わる職人の技術力を世界にアピールしようとした。

だが、道のりは険しかった。

五輪2度落選、伊代表の採用狙う

「下町ボブスレー1号機」を前に取材に応じる下町ボブスレープロジェクトの黒坂浩太郎委員長(2022年12月17日、東京都大田区)

14年ソチ五輪は日本代表から採用を見送られ、18年平昌五輪はジャマイカ代表との契約が大会直前に白紙に。「『下町』は消滅してしまうのか...」。平昌大会後にプロジェクトの委員長に就任した黒坂浩太郎さん(52)は、不安を抱きながらも「今まで関わってきた人たちの積み重ねを途絶えさせてはいけない」と再始動を決意した。

乗ってもらえる国はないか。21年3月、テスト走行したイタリア代表から好感触を得た。ただ、プロジェクト参加企業はピーク時の約100社から20社程度まで減り、その部品約200点を作る1社当たりの負担は増えた。各社が通常業務の合間や、残業時間にそり製作に当たり、コーナリング性能や約150kgある機体の強度を向上。設計を始めた同年8月から約4カ月で2人乗りのそり2台を造り上げた。イタリアは今年1月の世界大会で「下町」のそりを使い、同月中旬にも北京五輪で採用するか判断するという。

冬季五輪をめぐるのは、札幌市が30年大会の招致を目指しており、競技会場として長野市のそり競技場を活用する案を示している。「長野でテスト走行が本格化すれば楽しくなってくる。そりも選手も、オールジャパンで五輪を戦いたい」。日本代表から採用され、母国の舞台で「下町」のそりが走る日を、黒坂さんは夢見ている。

①「下町ボブスレー」とは、どんなプロジェクトですか。

()

②見出しの口に入る言葉を考え、8字以内で書きましょう(句読点は付けません)。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校/社会、総合)



Newspaper in Education

記事を読んで、問いに答えましょう。

静岡新聞で学ぼう

解答例



2022年 1月6日朝刊

下町ボブスレー

!!

北京冬季五輪の開幕まで1カ月を切る中、東京都大田区の町工場などによるプロジェクト「下町ボブスレー」が3度目の五輪挑戦に向けて、そり開発を進めている。過去2大会は不採用。メンバーの頭には「解散」もぎったが、経験を糧に今回イタリア代表への採用を狙う。パチッ、パチッ。冷たい空気に鉄の焼けるにおいが混じる。2021年12月、大田区の溶接工場で下町ボブスレーの溶接を取り仕切る後藤智之さん(37)が一人、黙々と作業をしていた。「いかにひずみを出さず溶接するか。タイムの遅れだけでなく、振動で壊れないように気を付けている」

プロジェクトは11年に発足。これまで国産製品がなかったボブスレー競技のそり開発に目を付け、切削や溶接、研磨など金属加工に携わる職人の技術力を世界にアピールしようとした。

だが、道のりは険しかった。

都内の町工場など開発



五輪2度落選、伊代表の採用狙う

「下町ボブスレー1号機」を前に取材に応じる下町ボブスレープロジェクトの黒坂浩太郎委員長(2022年12月17日、東京都大田区)

14年ソチ五輪は日本代表から採用を見送られ、18年平昌五輪はジャマイカ代表との契約が大会直前に白紙に。「『下町』は消滅してしまうのか...」。平昌大会後にプロジェクトの委員長に就任した黒坂浩太郎さん(52)は、不安を抱きながらも「今まで関わってきた人たちの積み重ねを途絶えさせてはいけない」と再始動を決意した。

乗ってもらえる国はないか。21年3月、テスト走行したイタリア代表から好感触を得た。ただ、プロジェクト参加企業はピーク時の約100社から20社程度まで減り、その部品約200点を作る1社当たりの負担は増えた。各社が通常業務の合間や、残業時間にそり製作に当たり、コーナリング性能や約150kgある機体の強度を向上。設計を始めた同年8月から約4カ月で2人乗りのそり2台を造り上げた。イタリアは今年1月の世界大会で「下町」のそりを使い、同月中旬にも北京五輪で採用するか判断するという。

冬季五輪をめぐるのは、札幌市が30年大会の招致を目指しており、競技会場として長野市のそり競技場を活用する案を示している。「長野でテスト走行が本格化すれば楽しくなってくる。そりも選手も、オールジャパンで五輪を戦いたい」。日本代表から採用され、母国の舞台で「下町」のそりが走る日を、黒坂さんは夢見ている。

①「下町ボブスレー」とは、どんなプロジェクトですか。

((例)東京都大田区の町工場などによる(3度目の)五輪挑戦に向けたそり開発を行うプロジェクト)

②見出しの口に入る言葉を考え、8字以内で書きましょう(句読点は付けません)。

(例)北京で走れ(5字)／今度こそ採用を(7字)／3度目の五輪挑戦(8字)／技術力アピール(7字)／消滅させない(6字) など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／社会、総合)